



2023年11月14日

各 位

会 社 名 フジコピアン株式会社  
本社所在地 大阪市西淀川区御幣島五丁目4番14号  
代 表 者 名 代表取締役社長 光本 明  
(コード 7957 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 専務取締役 上田 正隆  
電 話 番 号 06-6471-7071

## 業績予想の修正および役員報酬減額に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年8月10日に公表いたしました2023年12月期通期(2023年1月1日～2023年12月31日)の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正

2023年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	8,400	△ 400	△ 320	△ 420	△ 274.38
今 回 発 表 予 想 (B)	8,200	△ 800	△ 700	△ 800	△ 522.64
増 減 額 (B-A)	△ 200	△ 400	△ 380	△ 380	
増 減 率 (%)	△ 2.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	9,851	545	644	490	320.41

#### 2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高、損益とも前回修正発表時の計画を下回りました。「売上挽回策」や中期経営計画の柱の一つである新規開発製品が徐々にではありますが、売上および収益面に寄与してきたものの、主力のサーマルトランスファーマediaやテープ類の需要回復が遅れていることに加え、当社子会社の業績も伸び悩みました。グループを挙げた生産の効率化や販売・一般管理費などコスト削減に取り組み、円安にともなう為替差益の計上などもありましたが、売上高の落ち込みが大きく響いた状況となりました。

通期の業績予想につきましては、ウクライナ情勢の長期化による原材料・エネルギーコストの高止まり、世界的なインフレと金融引き締めによる景気回復の遅れや中国経済の停滞などを背景として、売上高は主力製品における一部、大手取引先の在庫調整長期化の継続の影響などから減収となり、それに加えて、半導体市況の回復遅れによる電子材料分野の低調な推移なども見込まれ、これら製品群が収益性の高い分野でもあることから損益面でも想定以上に落ち込み、今年度中の業績回復は厳しい見込みとなっております。

当社として、引き続き、「売上挽回策」を推進するとともに、生産性向上や経費削減に取り組み、収益の改善に努めてまいりますが、通期全般としては、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を修正することといたします。

なお、配当予想については、変更しておりません。

### 3. 役員報酬減額について

2023年6月15日開催の取締役会決議に基づき、2023年7月から12月まで役員報酬の減額を行っておりますが、上記の状況を鑑み、以下の通り、役位等に応じ、現行と同率での減額を延長することいたしましたので、併せてお知らせいたします。

なお、監査等委員会の協議により、常勤監査等委員である取締役の報酬の減額が決定しましたので、併せてお知らせいたします。

#### (1)役員報酬の減額内容

代表取締役会長	月額報酬の20%減額
代表取締役社長	月額報酬の20%減額
専務取締役	月額報酬の15%減額
常務取締役	月額報酬の10%減額
取締役(監査等委員である取締役を除く)	月額報酬の7%減額
取締役常勤監査等委員(社内取締役)	月額報酬の5%減額
上席執行役員および執行役員	月額報酬の5%減額

#### (2)対象期間

2024年1月から3月まで(3ヶ月間)

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上